

令和2年度第2回滝沢市総合計画審議会 会議録

(令和2年10月29日(木) 15時30分～17時00分)

(挨拶) 市長

本日は、本当にお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。また、この度、皆様には委員を快くお引き受けいただきました。改めて感謝を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度の第1回滝沢市総合計画審議会につきましては、6月に書面による開催とさせていただきました。また、委嘱状につきましても送付という形をとらせていただきました。本日初めてお会いする方もおりますが、今後ともよろしくお願いたします。今年度は第1次滝沢市総合計画後期基本計画の2年目の年度であり、本日は、今年度2回目の滝沢市総合計画審議会となります。

内容につきまして、議事にあるとおり「令和元年度の市長方針及び各政策方針の評価について」ご報告をさせていただきます。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、換気や消毒など対策を十分に行い、会議時間も長時間にならないように、出来る限りのご協力をお願いしたいと思います。

本日はどうぞよろしくお願いたします。

(司会) 事務局

ここで次第の3、この度就任された審議会の委員の皆様をご紹介させていただきます。名前を呼びますので、大変申し訳ありませんが、呼ばれた方はその場にご起立いただければと思います。また、次第の裏側に名簿をつけてありますので、そちらをご覧いただければと思っております。(中略)

それでは、本日の日程を説明させていただきます。新しく委員になられた方々もいらっしゃいますので、まず審議会の概要について簡単に説明させていただいた後、会長、副会長の互選、そして、議事といたしまして「令和元年度市長方針及び各政策方針の評価について」と順次進めさせていただきます。

本日の会議の終了時間は、16時50分を予定しております。時間の許す限り活発な議論をお願いしたいと思います。

それでは、次第4「総合計画審議会の概要」について、岡田企画総務部長より説明いたします。

(説明) 企画総務部長

私の方から、審議会の概要についてご説明を申し上げます。

今回新たに8名の方に委員に就任していただいておりますので、改めて滝沢市総合計画審議会委員の皆様の役割ということで、説明させていただきたいと思っております。

滝沢市総合計画審議会は、市の総合的な計画の策定や行政改革の推進に関し重要事項を調査、審議するために市長の諮問機関として設置されております。委員の皆様は、市民、学識経験者、関係団体の役職員及び関係行政機関の職員の方々など25名以内で構成されており、現在は23名で構成されております。委員の皆様は、様々な分野での視点で活躍されていることを生かしつつ、市の将来につきまして、幅広い視野と公平な立場で意見を発する役割を担っていただきたいと考えております。これらの役割に基づきまして、今期につきましては、この後説明いたします事項について審議いただく

予定となっています。

それでは、滝沢市総合計画について若干ご説明をさせていただきたいと思います。第1次滝沢市総合計画は「市民主体の幸福感を育む環境づくり」を進めるため、市民みんなが共有する「地域社会計画」で、平成27年度から令和4年度までの8年間で計画期間としております。この計画を前期と後期に4年ずつ分けまして、行政が行うことについて、6つの部門別に重点的に取り組むことやスケジュールを示すとともに、「市域全体計画」としてしております。また、市民の皆様が主体的に行うことにつきましては、11の地域ごとにそれぞれの課題や活動方針などを表しております。こちらが「地域別計画」となっております。これらの事項につきまして、その進捗状況や取り組みの内容、その他総合計画に関連する「分野別計画」などについて審議をいただくものでございます。

今日、総合計画をお持ちいただいていると思いますが、ちょっとこの計画の方をご覧いただきたいと思います。

2枚めくっていただきまして、「計画の目次」となっております。こちらが全体でございますけれども、まず「序章」ということで、計画策定の必要性等から載っております。「第1章」といたしましては、基本構想ということで、滝沢市の将来像から8の盛岡広域都市圏における滝沢市を記載しております。「第2章」といたしましては、基本計画の概要ということで、基本計画の役割等を記載しているものでございます。「第3章」といたしましては、「後期基本計画市域全体計画」、市域全体計画ということをはじめ、各部門別の計画を記載しているものでございます。「第4章」といたしましては、先程説明いたしました「地域別計画」ということで、地域別計画の策定といった内容のほかに、各11の地域別の計画を記載しております。そのほか「資料編」ということで、これまでの計画の推進、そして策定の経過等を記載している内容となっております。

体系について若干ご説明をさせていただきたいと思います。24ページをご覧いただきたいと思います。24ページにつきましては、滝沢市のトータルコミュニティマネジメントの考え方ということで、滝沢市自治基本条例に掲げました市民の想いということで、市民憲章、目指す地域の姿を実現するための体系ということで記載をしております。まず、左側のフローのような形の体系図がありますが、まずは滝沢市の自治基本条例をトップにして、その中で先程説明いたしました市民憲章、目指す地域の姿を明らかにしております。その中で、それぞれの役割等を記載した条例ということで、議会側の滝沢市議会基本条例、そして地域ということで滝沢市地域コミュニティ基本条例、そして行政の方とすれば滝沢市行政基本条例といった体系となっております。そして先程説明いたしました「基本構想 総合計画の8年間」ということで、滝沢市地域全体の社会計画といった位置づけとなっております。その中には、この計画書の42ページ以降にそれぞれ折り込みで掲載しておりますが、「幸福実感一覧表」、「暮らしやすさ一覧表」、そして「主要統計データ」といったことも記載しております。また、この幸福実感一覧表につきましては、これは市民の皆さんと計画策定時とともに作り上げた内容となっております。青色の部分になりますけれども、この計画の8年間で前期後期と4年間分けまして、基本計画4年間ということで、地域社会計画ということでの行動計画といった位置づけでございます。また、市ではこれまでも定期的に観測をするということで、地域社会アンケートを市民の皆様から、アンケートを毎年定点観測をして、そちらの推移を確認させていただいております。その中で、左側の地域別計画ということで、市民の皆さんの活動、そしてここに滝沢市行政基本条例と記載がありますが、個別の地域の活動ということで、各地域のコミュニティ活動といった位置付けです。市の行政、市域全体計画ということで行政計画、その下に6つの政策

があり、またその中には課がございますので、課の基本施策、施策といった形、また各事業につきましては実行計画といった形で掲載しているものでございます。また、現在、後期基本計画の2年目ということでありましたが、4年間の展開戦略ということで位置づけてございます。58ページをご覧くださいと思います。こちらでその計画の展開ということで、それぞれ外部環境、内部環境、そして市民の皆様のニーズを捉えて、1枚めくっていただきまして、展開の戦略ということで位置づけてございます。展開戦略の1つ目といたしましては、健康志向の高まり、また幸福感に基づく事業の選択と集中、健康寿命に関するニーズということで、健康づくりを通じた幸せづくりの加速を図るとしてございます。右側61ページの展開戦略の2番目といたしましては、経済情勢の変化、また、就労の場が少ない、働き方に関するニーズ等を捉えながら、若者の皆さんが定住できる受け皿を確保するということは、この2つの展開戦略に基づきながら取り組んでいるところでございます。

(司会) 事務局

次に、次第5「会長の互選」に入りたいと思います。会長が互選されるまで、私の方で会を進めさせていただきますので、よろしく願いいたします。それでは、会長の互選について、選任方法について、ご意見等ありますでしょうか。

(発言) 委員

事務局の方で案か何かお持ちではないですか。もしありましたらお願いします。

(司会) 事務局

はい、事務局という声がありましたが、事務局にて案をとということでよろしいでしょうか。

(発言) 委員

はい。

(司会) 事務局

それでは選任ということで、事務局の方で推薦をさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(発言) 委員

はい。

(司会) 事務局

それでは、事務局といたしましては、第1次滝沢市総合計画の策定段階から深く関わっていただき、策定経過や内容にも熟知されている岩手大学の丸山先生に引き続きお願いしたいと考えております。ご異議ありますでしょうか。

(発言) 委員

異議なし。

(司会) 事務局

はい。それでは、丸山先生に会長の方をお願いできればと思っております。よろしくお願いいたします。では、先生の方から一言ご挨拶をよろしくお願いいたします。

(挨拶) 会長

岩手大学の人文社会科学部で政治学を担当しております丸山です。この審議会や市民との付き合いについては、村の時代からのお付き合い、顔なじみの方も随分と増えました。この審議会、いつも活発な審議が行われているということはよく承知をしております。引き続き会長を務めさせていただきます。皆様の協力を得ながら、円滑な議事運営に努めたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(司会) 事務局

それでは、ここからの進行を、丸山会長の方をお願いできればと思います。よろしくお願いいたします。

(進行) 会長

それでは次に次第6の副会長の互選です。選任方法についてのご意見はありますか。

一任でよろしいですか。それでは、私も引き続き務めておりますので、ぜひ副会長については、盛岡大学の千葉先生にお願いしたいと思っております。よろしいでしょうか。

(発言) 委員

異議なし。

(進行) 会長

それでは、千葉先生の方から一言ご挨拶をお願いいたします。

(挨拶) 副会長

盛岡大学地域連携センターの所長を務めております千葉でございます。私も地域連携ということで地元滝沢とのいろいろな事業展開を大学として担当させていただいております。この審議会も二期目ということで、各方面の皆さんのご意見も頂戴しながら、滝沢市とともに進めればという風に考えております。なかなか定住というか、岩手についてよくわからない部分もありますが、会長とともに努めてまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

(進行) 会長

ありがとうございました。それでは議事に入りたいと思っております。議事の「令和元年度市長方針及び各政策方針の評価について」、担当部局の方から説明をお願いします。

○事務局及び各部長説明○

(説明) 市長

令和元年度市政経営に係る市長方針の評価ということで、滝沢市事務事業実施に関する基本原則を定める規則第6条に基づき、令和元年度市政経営に係る市長方針を次のとおり評価します。なお、令和元年度市政経営に係る市長方針においては、具体的な展開に関する評価という観点から、方針内の2つの大きな要素に関し、それぞれ評価を行うこととしたいと思います。まずその1つであります、(1)健康づくりの推進をはじめとした「幸せづくり」の取り組みということであります。これの方針の内容はこのようになっております。方針書から抜粋をしたものであります。生きがいややりがいのある充実した人生を送るための基本の健康づくりの推進をはじめとした「幸せづくり」について、取組を加速してまいりますという基本原則だったわけですが、それに対して評価の結論から申し上げますと、一定程度進展しているという評価であります。令和元年度から市民の幸福感において重要な位置を占める「健康づくり」の新たな環境づくりをミッションとした「健康づくり政策課」を新たな組織として設置し、健康づくりへの取り組みを広めることで様々な分野での地域づくりが進展するまちを目指しています。令和元年度においては、「滝沢市健康づくり宣言」の6つの行動指針の啓発と推進について、健康応援フェスタ2019を活用して啓発活動を行ったほか、健康づくりについての先進的な取り組みを調査研究いたしました。具体的には、健康寿命日本一の長野県から様々なことを教えてもらったということでもあります。将来的には滝沢市も健康寿命、日本のトップクラスを目指していければと考えているところであります。また、同宣言に賛同した主体的に取り組む団体等の増加に向けた啓発も実施しており、市内外の様々の団体等を中心として説明や勧誘を行い、登録団体の増加につながっています。このほかにも、チャレンジデーにも参加をしました。対戦相手の奄美市は市民の参加率が56.4%、当市は38.8%と負けましたが、いずれ健康づくりのためになったと思っております。健康づくりの推進をはじめとした「幸せづくり」の取組につきましても、後期基本計画の展開戦略の1つでもあるため、引き続き取り組みを広げていきたいと思っております。それで、一定程度進展しているという評価だったわけですが、この「地域社会報告書」を見ていただきたいです。14ページ以降、No.1からずっと番号が振ってあるのですが、これのNo.11、20ページをご覧ください。健康に関することで、心身ともに元気で暮らせることの満足度というのは、No.11の左側の方で、大体ほとんど変わっておりません。しかしながら、今度は右側の表を見ていただくと、自分が心身ともに健康と感じている人の割合はぐっと上がっているという状況があります。これは去年の10月に調査したもので、昨年度の結果ということになるのですが、進展をしているという評価の1つと思っております。あと、今は見ていただきませんが、No.16とかNo.17を後で見ていただきたいと思っております。

2つ目、(2)「おもてなしの心」「人とのつながり」「チャレンジ」を念頭においた市政経営ということで、『市民との信頼関係の土台として職員全員が「市民の生活が第一」であることをしっかりと認識し、窓口などをはじめとした市民との接点においては市民に寄り添ったいわば「おもてなしの心」を持つこと、また、官民を問わずにチームワークなどをはじめとした「人とのつながり」を創り、その中で学びながらチャレンジをしていくことが非常に重要であると捉えており、このことを念頭に置きながら市政の経営を進めてまいります。』ということでした。この評価については、一定程度進展しているという評価にいたしたいと考えております。平成31年4月に職員一斉の指針となる「滝沢市人材育成基本方針」の全面改正を行いました。その中では、職員に求められる能力としてのコミュニケーション能力をはじめとした人とのつながりに必要なもの、また、基本的に備えるべき意識として、市民へのおもてなしの気持ち、主体的に成長しようとする意欲などを定めました。また、

新たな人事評価制度の検討を行い、能力や意識を人事評価項目として盛り込むことによって、おもてなしの心を持った職員の育成につなげていくこととか、人とのつながりを想像した新たなことにチャレンジできる人材による市政経営の推進を図っているところでもあります。このようなことから一定程度進展しているということですが、これに関係するのはNo.5、No.9も後で見ていただきたいと思います。それから、No.24「市役所の仕事は信頼できる」ということなのですが、これは若干ではありませんが上がっているということです。あとは「総合計画を知っているか」ということについても、若干ではありますが上がっています。先程申し上げたナンバーとこの辺を考えあわせて、一定程度進展しているとこのように評価させていただいたところでもあります。いずれ、今取り上げた2つの項目につきましては一定程度進展していると評価をしたところでもあります。あとは、委員の皆様のご意見を賜りたいと思います。以上でございます。

(説明) 市民環境部長

政策01多様なつながりによって市民が行動しているまちについて、計画のビジョンを地域に対する意識、ライフスタイルなどが多様化する中であって、市民一人ひとりが人とのつながりを大切に、地域や行政と多様な形でつながりを持ち、自身や地域のことを考え行動することにより、幸福を実感し安全・安心に暮らしている状態としております。

政策目標値について、地域活動に参加している人の割合は53.9%、幸せに暮らしている人の割合は65.4%と上回っております。

政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況について、抜粋して説明します。(中略)

政策目標の達成に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成状況について、地域づくり懇談会等市民主体のまちづくり活動の支援やごみ減量・リサイクルの推進の地域活動の支援など達成しました。

重点課題の達成状況について、ビッグルーフ滝沢における地域活性化や地域活動の在り方や自主防災組織の支援、市民が自主的に行う資源リサイクル活動を通じた廃棄物減量など概ね達成しました。

外部環境、内部環境については、取り組みを継続いたします。

政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性については、地域づくりのさらなる展開、人材の発掘、育成、避難所の増設など地域防災力の拡充やごみ処理広域化について話し合いを継続します。

(説明) 健康福祉部長

政策02健やかで笑顔あふれるまちについて、計画のビジョンを市民一人ひとりが自分らしい幸福感を育むために、子どもから高齢者、障がいのある人もない人もそれぞれの役割を担い、地域の絆を大切にしながら、自助、互助、共助、公助が一体となって共に生き、健やかで笑顔にあふれて暮らしている状態としております。

政策目標値について、自分が心身ともに元気と感じている人の割合は60.7%、幸せに暮らしている人の割合は65.4%と上回っております。

政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況について、抜粋して説明します。(中略)

政策目標の達成に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成状況について、健康づくり政策課を新設、セーフティネットとしての社会保障制度の維持充実を図るため、地域包括ケアの推進や自立支援協議会の開催など達成しました。

重点課題の達成状況について、健康づくりの更なる展開や幼児教育保育の無償化への適切な対応、社会保障制度の確実な実施など概ね達成しました。

外部環境、内部環境については、取り組みを継続いたします。

政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性については、健康づくりのより具体的な事業展開や新型コロナウイルス感染症により生活保護受給者や生活困窮者の増加が見込まれることへの対応など社会保障制度の確実な実施に努めます。

(説明) 経済産業部長

政策03地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまちについて、計画のビジョンを目指す姿は「競争力・市場性のある産業と、安定した雇用・定住・後継者育成が循環的に発展するまち」であり、各産業分野と労働力が、市の特性や地域資源を活用しながらバランスよく発展するとともに、市民や地域が潤っている状況としております。

政策目標値について、自分の仕事に満足している人の割合は53.4%と下回り、身に付けた知識や技術を仕事や趣味の場で活かせる機会があると感じる人の割合は36.6%とやや上回っております。

政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況について、抜粋して説明します。(中略)

政策目標の達成に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成状況について、イノベーションセンターや同パークへ新たに2社の社屋を完成した他、農地集積が推進され、また、中小企業の後継者不足などによる事業継承の支援など概ね達成しました。

重点課題の達成状況について、ビッグルーフ滝沢の活用や地域おこし協力隊による情報発信に取り組み、イノベーションパークへ新たに2社社屋が完成した他、(仮称)産業振興条例の制定に取り組みなど一部達成しました。

外部環境、内部環境については、取り組みを継続いたします。

政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性については、新型コロナウイルス感染症の影響を見極めるとともに、農業、観光、企業の各分野における関係機関との連携や情報共有、対策や支援に取り組み地域一体となり産業を支える取り組みが必要であると考えております。

(説明) 都市整備部部长

政策04ひとにやさしく安全・安心で活力あふれるまちについてですが、始めに資料の訂正をお願いします。1(2)施策目標値の達成状況について、1滝沢市は住みやすい市だと感じている人の割合の基準値74.1を68.6へ、2滝沢市に愛着がある人の割合の基準値74.6を69.2へ訂正願います。計画のビジョンですが、生活基盤を整備、維持することにより、子どもから高齢者までが、安全に安心して暮らすことができる、ひとにやさしいまちづくりを目指し、活力あふれるまちを目指し、交流と活力、雇用の拠点づくりを進めるとしております。

政策目標値について、住みやすい市だと感じている人の割合は70.6%と上回り、市に愛着がある人の割合は69.1%と横ばいとなっています。

政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況について、抜粋して説明します。(中略)

政策目標の達成に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成状況について、中心市街地関連や小岩井駅前広場関連、土石流危険区域への砂防施設を要望箇所の採択など概ね達成しました。

重点課題の達成状況について、中心拠点地域の調整や河川護岸工事など概ね達成しました。

外部環境、内部環境については、取り組みを継続いたします。

政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性については、社会資本整備総合交付金の内示率が40%弱と低いことによる優先順位の考慮や、市民ニーズに基づいた事業展開を進める必要があります。また、空き家等対策計画策定や協働除雪事業についてもさらに進める必要があります。

(説明) 上下水道部長

政策04ひとにやさしく安全・安心で活力あるふれるまちについて、上下水道部に係る部分は先の都市整備部と同様ですので割愛します。

政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況についてですが、ここで資料の訂正をお願いします。

1 (3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況の1.1 効率的な污水处理施設の整備・維持管理の基準値85を82.2へ訂正願います。それでは抜粋して説明します。(中略)

政策目標の達成に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成状況について、水安全計画等に基づいた安全な水の安定供給を図るとともに老朽施設の更新と配水管の耐震化を推進し、小岩井地区の下水道整備や鶴飼地区の老朽取付管工事を行い、下水道区域外においては合併浄化槽の普及促進を図ることで概ね達成しました。

重点課題の達成状況について、老朽施設の更新と耐震化の推進及び既存水源の有効活用と緊急時のバックアップ機能強化に向けた連絡管等の整備や老朽下水道施設の改築等による不明水対策の推進や公共下水道の接続率向上のための取り組みなど概ね達成しました。

外部環境、内部環境については、取り組みを継続いたします。

政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性については、コスト削減、適正な料金設定等による安定経営に努めながら、施設の老朽化や災害対策、耐震化等を計画的に進めるなど持続可能な上下水道事業経営を目指す必要があります。また、令和2年度に策定予定のアセットマネジメント計画に基づく、下水道施設の更新、効率的な維持管理等の実施を行う必要があります。

(説明) 教育次長

政策05学びにより充実した人生を送ることができるまちについて、計画のビジョンを全ての世代が学びによる幸福感を育めるよう生涯にわたって学びあい、学んだことを生かせると共に、伝統文化・芸能を次世代に継承し、ふるさとに愛着を持つことで、いきがいとやりがいのある充実した人生を送ることができるまちを目指します。

政策目標値について、子どもの教育について学校、家庭、地域の連携があると感じている人の割合は47.2%と下回り、趣味や特技を披露できる機会が地域にある人の割合は19.4と上回っております。

政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況について、抜粋して説明します。(中略)

政策目標の達成に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成状況について、老朽化している校舎の屋根外壁等改修、市内小中学校の普通教室に空調設備を整備、教育用コンピューター4校更新などにより概ね達成しました。

重点課題の達成状況について、鶴飼小学校の大規模改修、市内小中学校の空調設備整備、学びプランたきざわに基づく全庁による学びの展開を図るなど概ね達成しました。

外部環境、内部環境については、取り組みを継続いたします。

政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性については、市民が生きがとやりがいのある充実した人生を送るため、引き続き学校教育の充実や生涯学習の推進等に取り組みむと共に、学校施設や体育施設等の維持修繕と長寿命化、学校の適正規模の在り方を検討、不登校対策や特別支援教育等の充実、学びプランたきざわの着実な展開などを進める必要があります。

(説明) 企画総務部長

政策06次代を担う人材の育成と、持続可能な行財政経営を進める部門について、計画のビジョンを次代への多様な環境変化の中にあっても、持続可能な行財政経営を支えるため、滝沢の価値と未来を創造する人材の育成と、課題解決に向けた組織力の強化、経営資源の確保と資源配分の最適化を進められる部門を目指すとしております。

政策目標値について、市の行政サービスは良いと感じている人の割合は38.4%と上回り、市に愛着がある市民の割合は69.1%と下回っております。

政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況について、抜粋して説明します。(中略)

政策目標の達成に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成状況について、人材育成基本方針に基づく人材育成を図り、総合計画の推進と各情報システムの仮想基盤活用等の拡大と安定稼働の確保に努め、一般会計決算の実質単年度収支が4年連続黒字、税収納対策に継続に取り組み収納率が向上するなど達成しました。

重点課題の達成状況について、人事評価の見直し、個別施設計画の策定、徴収対策を強化するなど達成しました。

外部環境、内部環境については、取り組みを継続いたします

政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性については、総合計画の着実な推進、経営資源の確保と資源の最適化による配分を継続的に取り組み、コロナ禍における総合計画の推進と新総合計画の策定を進める必要があります。

(進行) 会長

市長方針及び各政策方針の評価について説明がありました。ここまでの説明についてのご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

(意見) 委員

ふるさと納税について、自然環境保全1,126万円、地域産業振興473万円など活用しているが、令和元年度のふるさと納税額が2,253万円となり、平成27年の約6,900万円から下降傾向である。多くのふるさと納税があればいろいろな活用ができる。雫石町は約7,800万円、西和賀町は約2億2千万円、矢巾町は約4億2千万円である。もっと強力なプロジェクトチームを立ち上げてやった方が良いのではないかと。

来年3月11日に震災から10年となる。県では市民団体の請願を受けその日を忘れないようにしようという条例制定のようである。震災により滝沢市に移転してきた方が現在も50世帯100人いるようであり、どのような状況なのか、経済的にどうなのか、状況調査やヒアリングをして10年目以降の施策を検討してはどうか。

ビッグルーフ滝沢と市役所間の横断歩道であるが、危険であり事故も起きている。自分調べであるが、通行量は9時30分～10時30分で約1,600台、うち3分の1が大型車である。日中約1,300台のうち3分の1が大型車である。押しボタン式の信号が必要である。子ども達や車椅子などは見づらい。押しボタン式の信号を設置いただきたいと思う。

(回答) 経済産業部長

ふるさと納税額について、段階的に減少しているが、ふるさと納税自体を全国で取り合っている状況であり、各自治体も力を入れている。現在、ふるさとチョイス1本でサイト掲載しているが、今年度から3つのサイトに掲載することとして、多くの皆様に見てもらおう状況としている。市では、今年度から経済産業部で担当しており、部全体で取り組むことで農家や企業と協力し、商品作りやPRを今年度から進めさせていただいている。

(意見) 委員

ふるさとチョイスは、全国の自治体も取り組んでいる。ふるさと納税について、滝沢市の持っているポテンシャルを活かすにはネットワークを活用すべきである。首都圏で開催している滝沢ふるさと会に参加したことがあるが、いろいろな方々が参加しているので、滝沢市に関わりのある方にもっと知っていただくなどのネットワークを生かすことも必要である。

(進行) 会長

ご助言・ご提案として受け止めていただければと思います。

(回答) 企画総務部長

震災10年に関して、委員のお話があったように50世帯100人の方々が市に移住されており、補助や支援を行っておりましたが、経過することにより現在では市を通しての支援は行ってない状況であります。引き続き、お話を伺いながら対応させていただきます。

(回答) 市民環境部長

横断歩道について、警察の関係となりますが、お話のとおり職員や警察でも危機感をもっている。その中で、信号の数について、どこか設置をすればどこか減らさなければならないものであり、警察では今の場所だと大型車の陰から出なければ気付かないということで、横断歩道の場所を変えてみようかという話もある。

(進行) 会長

市長方針及び各政策方針の評価について何かございませんでしょうか

(意見) 委員

市長方針の評価で、概ね達成しているということであるが、都合良いところだけ評価していると思われる。むしろ停滞あるいは下がっている、問題化しているといったところを指示して進めるようお願いしたい。要望です。

(回答) 市長

良い面、悪い面があり、なぜ悪くなったのか検討していく。アンケートの中に、重要度と満足度がある。そのようなことを洗い出して、幸せに近づくような施策を進めていきたい。

(意見) 委員

説明を効率的に行って欲しい。説明したいポイントをきちんと絞って説明いただきたい。進め方について考えて欲しい。また、市長方針の評価の中で、健康づくりに関して長野県において調査・研究をしているということであるが、市民には伝わっていない。伝える場として、健康づくり推進協議会があると思う。良いところは全体で共有して欲しい。意識の醸成をして欲しい。よろしくお願いします。

(進行) 会長

質疑の時間をとれるよう説明を効率化して欲しいということで、これは私からもお願いします。

(回答) 市長

限られた時間ではあるが、皆さんの意見をいただけるような組み立てにしていきたい。また、機会を捉えてお知らせしていきたいと思う。

(進行) 会長

議事としては、以上といたします。進行を事務局へお返しいたします。

(司会) 事務局

以上をもちまして、令和2年度第2回滝沢市総合計画審議会を閉会いたします。